

[Fe] ヒドロゲナーゼの構造化学

Crystal Structure of [Fe] hydrogenase in complex with its substrate

日時：平成21年8月5日(水) 13時-15時

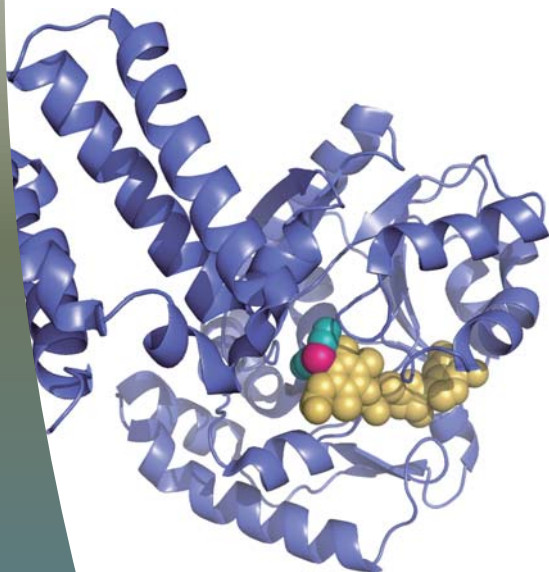
場所：研究棟7階 談話室

嶋 盛吾 先生

(Max Planck Institute for Terrestrial Microbiology)

ヒドロゲナーゼは、最も小さな基質分子・水素の合成と分解を触媒する酵素である。この分子は、その触媒活性部位の金属の組成から、[NiFe]ヒドロゲナーゼ、[FeFe]ヒドロゲナーゼ、および[Fe]ヒドロゲナーゼに分類されている。[NiFe]、[FeFe]ヒドロゲナーゼはともに活性部位に2個の金属原子(NiとFe、あるいはFeを2個)を持ち、これまでにいくつかの分子の立体構造が報告されている。

嶋盛吾先生は、昨年金属原子(Fe)を1個しか持たないヒドロゲナーゼの結晶解析に成功されました(*Science*, 321, 572-575, 2008)。今回、名古屋で開催された第14回国際生物無機化学会議で招待講演のために帰国されたのを機会に本学でもご講演をお願いしました。皆さん奮ってご参加ください。



連絡先
生体物質構造学| 樋口芳樹(内線509)

TEL : 0791-58-0179
E-mail : hig@sci.u-hyogo.ac.jp